

# 様式10

## 令和6年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

### 1. 指定管理者（施設）の基本情報

<b>施設名</b>	みのお市民活動センター
<b>指定管理者</b>	特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのお
<b>指定期間</b>	令和2年4月1日～令和7年3月31日
<b>施設概要</b>	<p>① 所在地：箕面市坊島4丁目5番20号 みのおキューズモールWEST1-2F</p> <p>② 構造：鉄骨造陸屋根・合金メッキ鋼板葺6階建 (うち、2階一区分)</p> <p>③ 床面積：専有面積 720㎡</p> <p>④ 開設年：平成15年</p> <p>⑤ 施設内容： 非営利公益市民活動の促進を目的とする施設。会議用施設や活動用施設等を市民等の利用に供し、市民活動促進のための各種事業を実施。 ※会議用施設：会議室1室、小会議室1室、多目的室1室、プレイルーム1室 ※活動用施設：事務ブース、ロッカー、倉庫、メールBOX、 ※交流用施設：ワーキングコーナー（印刷設備）、フレキシブルコーナー他</p>
<b>市支出額</b>	指定管理委託料…31,185,104円 キューズモール施設借上料…27,919,116円 キューズモール施設共益費…5,756,520円 (全て税込)

### 2. 事業の実施状況

<b>情報収集及び提供に関すること</b>	ホームページの管理・運営（随時）、ニュースレターの発行（年2回）、グループガイドの発行（隔年 ※令和5年度発行のため令和6年度は発行なし）
<b>講座の開催、その他啓発に関すること</b>	NPOフェスタ（年1回）、講座（年6回 ※他、指定管理者主催事業として1回あり）
<b>相談に関すること</b>	各種テーマ相談（年1回）、一般相談（随時）
<b>交流の促進に関すること</b>	利用者協議会、ぽんぽんファミリーひろば、（事務ブース交流会 ※指定管理者主催事業）
<b>調査・研究事業</b>	公共的空間の活用
<b>支援に関すること</b>	市民活動支援金募集・審査・交付、報告会の実施（各年1回）、交付後のサポート等
<b>場所及び施設の提供に関すること及びセンター施設の利用に関すること</b>	開館時間：午前9時～午後10時 休館日：12月29日～1月3日
<b>その他施設を活用した市民サービス等</b>	箕面市災害支援ネットワーク会議、証明書発行業務（火曜～日曜日、年間357件発行）、期日前投票所会場提供（2回、合計17日間）、プレミアム付商品券販売（1回、18日間）
<b>情報収集・提供（自主事業）</b>	メールニュース（月2回程度）、ホームページの管理・運営（随時）、ボランティア情報サイト管理・運営（月1回更新）
<b>団体の運営・活動に関する連絡、相談、啓発、支援（自主事業）</b>	活動・情報の交流会等の支援（まんどろ火祭り等）
<b>市民活動に関する人材育成（自主事業）</b>	ボランティア・実習生受入、高校啓発事業（週1回程度）等
<b>市民活動を促進するための社会的な環境の整備（自主事業）</b>	団体との連携（実行委員会等参画、映画上映会、）、ネットワーク構築（もっとネット会議、北摂ともにプロジェクト等）
<b>その他の自主事業</b>	来館啓発（ほっとコンサート：年1回、箕面在住アーティスト展：年1回、みのおcinema上映会：年7回）、おさがり服の交換会（年3回）、中間支援組織の研修、震災復興支援活動等

### 3. 利用者の満足度

#### (1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	合計326人（市内222、市外103、未回答1）から回答を得た。シニア世代が多数であるものの、50歳代までが全体の3分の1強を占め、いわゆる現役世代の利用（回答）も比較的多い。また月1回以上の定期的利用者が約4分の3を占め、ボランティア活動等へは「日常的」および「時々」参加するかが35.9%となっている。 満足度では予約受付方法で「やや不満」が6.7%と他に比べて不満が多く、また施設の設備・備品についてと温度・臭いについてでそれぞれ1件ずつの「不満」の回答があった。総合的にはほとんどの方から「満足」「おおむね満足」の回答を得ている。
------------	--

#### (2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	施設を利用されている非営利公益市民活動団体のメンバー12名にご参加いただき、意見交換を行った。競合が増えて部屋が取りにくくなっていること、倉庫・ロッカーでの備品管理、利用ルールおよびコピー機・トイレ等の設備に関する意見や質問のほか、故障している設備についての要望が寄せられた。
------------	--

#### (3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	利用終了時に提出される利用報告書の「ご意見」欄および窓口で口頭により寄せられた意見・相談について、定期的開催している内部会議において共有・検討を行い、対応している。
-----------	--

### 4. 収支状況

令和6年度（2024年度）は、法人全体として、経常収益34,674,361円に対し経常費用36,745,460円となり、税引き後の正味財産は2,141,099円の減少となっている。 物価上昇に伴う人件費や清掃業務等の委託料の増加により、センター事業関係の収支は単年度で2,718,730円の支出超過となっているが、前年度までの繰越金の範囲内に収まっている。
---

### 5. 特別提案の状況

(なし)	
------	--

### 6. 指定管理者の自己評価

今回の利用者アンケートでは、トイレの清掃に関する指摘が複数あったが、清掃業務を委託する事業者が新しくなった時期であったことから、清掃方法についてすでに確認を実施しており、現在は改善されていると認識している。

また、猛暑の時期であったことから、部屋に入室した際の温度についても複数の意見が寄せられた。利用開始時からの空調稼働は公共施設として不適切ではないと考えるものの、今夏のような異常高温下では、今後も検討が必要な課題であると認識している。

利用団体の増加等により、会議用施設の予約が取りにくくなっている状況がうかがえるが、施設規模に限りがあることから、この点については指定管理者として直接的な対応が難しい課題であると考えられる。時間区分の見直しについても複数の意見があった。現時点では、多くの利用者が現行の「午前」「午後」「夜間」の3時間または4時間区分に慣れていると考えられるが、引き続き利用者のニーズに耳を傾けていきたい。

利用者による意見交換会では、倉庫・ロッカーでの備品管理についての話題が複数出された。区分をはみ出さないよう依頼したところ、早速、荷物の整理に取り組んでいただいた団体もあった。また、カラー印刷や両面自動コピーについての要望もあったが、設備上対応が難しい点もあり、これらについては利用者に理解を求めている。

施設管理以外の、いわゆるソフト事業については、ここ数年、市民活動の促進につなげる取組として「かやのさんべい橋交流スペース」の活用を進めている。2024年度には、リニューアル後のかやのさんべい橋において、「かやのCOCOストリート」を2回、「Bar Bridge」を1回実施したほか、同スペースを会場に、公共空間の活用についてアイデア出し等の意見交流を行った。これらの取組は、市民活動を生み出す土壌となる、人が出会い、つながる公共空間の可能性について、実践を通じた調査研究として実施しているものである。今後、市民活動センターには複数の主体をつなぐ役割が一層重要になると考えられるが、そのための実績と経験の蓄積が進められていると評価している。また、夢の実支援金やNPOフェスタ等の事業についても着実に実施しており、市民活動の担い手の在り方が変化する中で、中間支援としての新たな役割を果たせるよう、引き続き努めていきたい。